

令和5年 第7回湯沢町教育委員会定例会会議録

- 1 日時場所 令和5年7月26日(金) 午前9時30分より
湯沢学園 2階 会議室

- 2 出席者
委員：種村公夫教育長、南雲敬一委員、上村麻美委員、高橋延次委員、富沢清美委員
説明員：古川子育て教育部長、田村子育て支援課長、南雲認定こども園長、角谷教育係長、
岡村管理指導主事

- 3 開 会
午前9時30分

- 4 議事録署名委員、日程の承認
令和5年第7回教育委員会の議事録署名委員を種村教育長、高橋延次委員とする。
議案2件、報告連絡事項とする。日程及び議事順序を承認。

- 5 議案審査
議案第1号 令和5年度準要保護児童生徒の就学援助の承認について【非公開】
全員一致で議案第1号は承認

議案第2号 令和6年度小学校教科書採択について

(教育長) 議案第2号令和6年度小学校教科書採択について審議をお願いします。審議を始めるに当たり、この会議の位置づけについて説明します。令和6年度から小学校の教科書が全面改訂となります。採択地区協議会という組織があり、市町村単独で採択するのではなく複数の市町村での広域採択という形を取っています。湯沢町の場合、小千谷、魚沼、南魚沼、湯沢の4地域が同じ教科書を使う広域採択の一つの区域になっています。今年度は、南魚沼市が主管となって、この会議を進めてきました。

この会議を進めるにあたり、採択委員会を設けました。教育長4名で構成する準備会議でいろいろな段取りを考えてきました。実際の作業として、調査員を選出し、先生方の代表から1教科ずつ全教科書を調べてもらい、適否を検討しました。そして、教育長2名、教育委員2名、保護者2名、学校長2名の選定委員からなる選定委員会を設け、調査員の報告を受

けた上で、実際にどの教科書を使うとよいかを選定していただきました。それから、採択協議会にもう一回戻し、先日どの教科書を使うかを決定しました。今皆様の前に置いてある教科書が決定となった教科書です。本来であれば全ての教科書を持ってくれば良いのですが、大変な作業になりますので、今回は決まった教科書を確認し、採択していただく作業をお願いしたいと考えています。

1号議案の資料の次にある教科書の決定の資料をご覧ください。教科ごとにどの会社の教科書を使うかの一覧が載っていますので、その教科書についてなぜ選ばれたかの選定理由を説明します。必要に応じて実際の教科書を手にとって確認いただき、これなら大丈夫だとこの場で湯沢町としての採択をお願いするという位置付けになっています。この採択により最終決定となる場ですので、その旨を承知してください。よろしいでしょうか。

(異議なし)

(教育長) それでは、これから順番に教科書ごとに説明します。必要があったら実際の教科書をご確認いただきたいと思います。

最初に国語の教科書、東京書籍が選定されています。今回の教科書の大きな特徴として、子供たちがタブレットを使って学習を進めるようにしていますので、タブレットをすぐに使えるように、QRコードが教科書にふんだんに盛り込まれていました。ほとんどの教科書でQRコードのアクセス状況や内容等について、調査員並びに選定委員も確認をしています。スマホで読み込めばその画面が出てきます。教科書にある情報だけでは不足するもの、または動的に物を捉えさせたいとき、動画でそれを見えるようにする工夫がされています。そういうコンテンツの豊富さや質の高さも選定の中に組み込まれていると考えています。

国語の場合、デジタルコンテンツが600を超えるということで、非常に充実していることも挙げられています。あと、言葉相談室というコーナーがあって、子供たちが自ら考えて、課題を見いだしていけるような構成になっている。それから、子供たちの学習のイメージが持てる工夫がされている。教えるべきことは明確に書かれており、子供たちにとって分かりやすい学びが実現できる等々の理由で、この教科書は選ばれているということです。今申し上げたところは、他の教科書に比べてこの教科書を選んだ優位性のある部分の説明になるので、そのように理解いただき、見ていただくとありがたいです。

それでは、国語の教科書について見ていただき、ご意見、ご質問等があったらお願いします。

(委員) 基本的にほとんどの教科がQRコードを利用しているのか。

(教育長) ほとんどの教科にふんだんに入っています。ただ、実際の使用は令和6年4月からなので、コンテンツによってはまだ準備が間に合っていないものがあるかもしれません。

(委員) 今押したけれど、出てこなかった。まだ正式に運用になっていないということですか。分かりました。

(教育長) 特にご質問、ご意見等がなければ、国語は東京書籍を採択してよろしいでしょうか。
(はいの声あり)

(教育長) では、採択をされる方は挙手をお願いします。
(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。それでは、国語は東京書籍が採択されました。

続きまして、書写について採択をお願いします。同じく東京書籍のものが選ばれました。習字の教科書ですが、どちらかというと比較的地味な教科書と思えるのですが、逆に色覚的に特性があって、子どもにとっては優しいのではないかと、落ち着いたレイアウトではないかという理由で選ばれています。また、本体の国語の教科書と同じ教科書会社であるということも内容的な連動性を保つことができるという理由から、これが選ばれております。ご検討をお願いいたします。

(委員) 私たちは子供の頃、これだけ書き方をしっかり教わった覚えがありません。今一番私たちに欠けているものがこれだと思いました。

(教育長) 何とも反応しにくい発言です。

(委員) 教科書の大きさですが、基本的には全部同じですか。

(教育長) 判の違うものもあります。

(委員) 判の違うものがあって、何か特別なことがあるかなと思いました。見ていたら少し違ったのです。

(教育長) ワイド判のものもあって、情報量という面でかなり配慮されているというものもあります。

それでは、書写の教科書についてご質問、ご意見等はどうでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) ないようでしたら、採択を承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。それでは、書写は東京書籍が採択されました。

続いて社会科です。教育出版という会社のものが選ばれました。この教科書が選ばれた一番の理由は、5年生の農業について南魚沼市の農業が大々的に取り上げられ、身近な実感を持った学びが実現できるということです。それから、7.13の三条の水害の話題が取り上げられていて、新潟県のために作られたのではないかと思うくらいの教科書になっています。ぜひ改めて学び直すという意味でもかなり効果があると考えられます。

それから、つかむ、調べる、まとめる、つなげるというようなインデックスの表記があって、子どもが学びをどういう手順で進めていけばよいかということが分かりやすく表記されています。それも選ばれた理由となっています。

(委員) すみません、その南魚沼市について、どこに出ているのですか。

(教育長) 5年生の農業です。

(委員) 5年生ですか。

(教育長) はい。

(委員) 今は農業がもうほとんど実質的に機械化されて、子どもが手伝う機会がないので、学校で田植えとか、そうしたことをしっかりやらしてもらわないといけないと思います。自分たちではもうどうしようもなくなりました。

(教育長) それは何ですか。

(委員) 子どもが土に触れる機会がなくなり、こればかりはもうどうしようもありません。逆にこちらへ合宿に来る人の中にはあえて田んぼの中へ入って、実際手で植える人もいます。もっと極端なのは、田んぼの中へどろんこになると言っていて、わざとダイビングさせて土との接触を感じてもらい、そんなこともやっていました。わざと泥田んぼの中にはだしで歩かせて、ぬかるみの感触を味わっていました。幼稚園の関係がメインでしたが、よくやっていました。

(教育長) こども園でそういうことはありますか。

(認定こども園長) 田んぼはないです。田植えもしていません。

(教育長) それでは社会科、教育出版の教科書について何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、この教育出版の採択を承認する方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。

続いて同じ社会科の地図帳も採択の対象となっていて、教科書の下に帝国書院の地図帳が入っています。多分皆様もこの地図帳を当たり前のように使ってきたのではないかと思います。採択委員からもあまり議論の余地なく、帝国書院であると決まったような雰囲気もあります。地図帳はいつも使っている帝国書院ということで、大変分かりやすい工夫がたくさんされてきています。特に地図帳の中では、土地の高低差がほかの地図帳に比べて非常に分かりやすいということが述べられていました。

(委員) 各地の名産がみんな載っていますね。

(教育長) よろしいでしょうか。

帝国書院の地図帳の採択について何かご意見、ご質問のある方はいますか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、採択を承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。それでは、帝国書院が採択されました。

続いて算数の教科書です。これは学校図書という会社の教科書です。多分幅がほかの教科書よりも少し広がっていると思います。ワイド判で内容的に情報量がしっかり確保されているということです。教科書は上下巻2冊組みになっています。国語と一緒にです。低学年にとっては非常に分かりやすい構成になっています。それから書き込み等ができるゆとりのある構成になっています。練習量は多くなく、少なくなく、無理なく進められるということが理由として挙げられています。

(委 員) 今子どもたちが使っている帳面の大きさはどうなっていますか。

(教育長) ノートですか。

(委 員) ノートです。これとほとんど同じですか。

(教育長) ノートはB5ではないでしょうか。

(管理指導主事) B5ですね。

(教育長) A4ではないような気がします。B5です。

(委 員) 少し話が違いますが、保護司会で使っているのはA4で、A4は使いづらいのではという意見があって、来年は通常使っているB5判に直すという話が部内で出ています。確かに今のランドセルの大きさからいうと、A4は結構大きいですね。

(教育長) 今のランドセルにはA4が入ります。

(委 員) A4が入るということですが、実際にA4のこういう帳面とか、いわゆる教科書ではないものはどうですか。

(教育長) 逆にノートの方が小さめです。だからA4だと今の教科書と同じサイズだと思います。

違和感はもうなくなってきました。

(委 員) これがA4ですか。

(教育長) A4ではないでしょうか。

(委 員) 全部このように飛び出します。

(教育長) B5でしょうか。

(委 員) 横はA4ですが、高さがこのようにみんな違っています。

(教育長) 本当ですね。そうするとやっぱりA4だと少し大きくなってしまいますね。

(委員) 大きいですね。

(教育長) そうですね。

(委員) 今までずっと家には孫が多くいましたが、もらっていたけどあまり使っていなかったということでした。使ってもらうには基本的にいろいろな教科書を帳面に合わせたほうがいいのではないかという話を部内でしていました。

(教育長) B判というのは世界的に日本しかないものです。日本固有のサイズです。世界は全部A判です。

話がどんどん広がってしまいましたが、ここで戻させていただきます。算数について学校図書を採用するにあたり、何かご意見、ご質問がある人はいますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、算数の教科書、学校図書を採用することに承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。

続いて理科の教科書です。これも同じく学校図書の教科書となっています。見ますと、身に付けさせたい力についてキャラクター等でも分かりやすく説明しています。それから、大事なのは雪国で無理なく使える単元配列になっていることです。季節に合わせた、ちょうどいい時期にその学習ができるようになっています。県内の教材等もふんだんに盛り込まれていて、子供たちにとって意欲づけになるかと思えます。あと、QRコード等の活用によって非常に豊富な映像資料が展開できます。それから自らの会社だけではなく、NHKの動画へもリンクが張られていて使い勝手が良い、そのような意見で採択されています。

では、理科の教科書について何かご質問、ご意見等ありますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、理科の教科書、学校図書を採用することに承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。

続いて生活科の教科書です。これも学校図書という会社のものが選ばれています。生活科は小学校1年生、2年生が主に学習する内容で、その後3年生以降に理科と社会に分化していく、その基となる学習の内容となっています。選定された教科書は、一つの活動が見開きの状態でパッケージ化されていて、非常に使いやすいということでした。また、見出しや写真等の使い方や配置が分かりやすいということもありました。そして、子供たちがもっとこ

うしていききたいなという発展的に物を考えられるような工夫がされているとのことでした。
いかがでしょうか。

では、生活科の教科書について何か質問、意見等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、生活科の教科書として学校図書を採用することに承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。

(委 員) すみません、生活科の上下というのは、1年生と2年生と解釈していいのですか。

(教育長) そうです。

(教育長) 上が1年ですか。

(管理指導主事) 基本的にそういう形になります。

(委 員) 上が1年ですね。

(管理指導主事) はい。学校によってはその指導計画入れ替えてすることもできます。

(教育長) 活動が中心の学習なので、地域や季節に合わせて入れ替えがされるものと思います。

(委 員) それでは基本的には1年生、2年生と解釈してよいのですね。

(教育長) そうです。

(委 員) 分かりました。

(教育長) 続いて音楽です。教育芸術社というところのものが選ばれています。この会社は音楽の教科書だけを作っている会社で、かなり力を入れてもらっています。何よりも教材の数が非常に多くて、子どもたちの意欲を高めやすいです。それから、学習の活動をアイコンで表示して、何を学ぶか、何ができるようになるかということが分かりやすくなっています。先生方もこれを使うと授業がしやすいとのことで、教科書どおりに授業を進めることで子供たちがしっかり力をつけることができるという選定理由が挙げられています。QRコードを読み込むとすぐ音楽が流れてくるという構成になっています。

では、音楽、教育芸術社の教科書についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、音楽は教育芸術社の教科書を採用することについて、承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。全員賛成ということで、承認されました。

続いて図工の教科書です。日本文教出版という会社の教科書が選ばれています。絵が苦手な人でも図工に興味を持てるようにICTを活用してあるとか、子どもたちの主体性を引き出す工夫として、意欲や感性が湧き出すような紙面構成がされているとか、背景を黒くして、作品や写真が見やすいように工夫されているとか、様々な工夫がなされているという理由でこの教科書が選ばれました。

いかがでしょうか。図工の教科書についてご質問、ご意見等ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、図工について日本文教出版の教科書を採択することに承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。全員承認ということで、採択されました。

続いて家庭科です。開隆堂という会社の教科書が採用されています。この教科書が選ばれた理由として、基礎的な知識、技能を確実に身に付けていく流れになっている、基礎的な実習ができる、経験の少ない教員でも指導しやすい情報量である等の理由が述べられています。具体的には、もっと細かくいろいろな技術を教えている教科書もあるのですが、そこまで広げられても指導も難しくなるし、子供の定着も難しいということで、基本的なことがきちんとできるということを重点的に行っているということで、この開隆堂の教科書が選ばれています。

家庭科の教科書について何かご質問、ご意見はありますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、家庭科について開隆堂の教科書を使うことに承認する方は挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。承認されました。

続いて体育です。体育は保健体育と違って、実際に動く体育ではなくて、知識、理解として学んでいく部分の学習の教科書になります。東京書籍の教科書を選んでいきます。この教科書が選ばれた理由として、昨今非常に社会的にも話題になっております性の多様性等について、例えばほかの教科書では異性についての興味という言葉が使われているところは、ほかの人への興味という言葉になっていて、LGBTQ等への配慮もなされているということ、あとスマートフォンの使い方についての注意事項があること、ワークシート形式になってい

る部分もあって、実際に書き込んで使えるような形になっていること、あとはデジタルコンテンツが豊富であること、こうしたことが選ばれた理由となっています。

(委員) 保健は、いつ頃から小学校に入ってきたのですか。中学校にあったのはたしか覚えています。私たちの子どもの頃は小学校にこの項目はなかったように感じます。

(教育長) あったのではないのでしょうか。

(管理指導主事) 小学校ではどうだったですか。分かりません。

(教育長) 教科書があったかどうかですね。

(委員) ちょっと覚えがなかったものなので。

(教育長) 教科書も個人持ちになっていたかどうかということもあります。道徳はずっといろいろな教科書が据え置かれていて、自分では持っていませんでした。多分同じような状況だったのかもしれない。

また、話がいろいろ広がっていますが、元に戻させてもらいます。体育の教科書、東京書籍を使うことについて何かご意見、ご質問のある方はいますか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、東京書籍の教科書を承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。それでは、東京書籍が採択されました。

続いて道徳の教科書です。道徳は光文書院の教科書が選定されています。道徳については、考えるということが今非常に重視されてきています。そのため、この教科書は「考えよう中心発問」、「まとめよう終末の言葉」、「広げていこう発展的な考え方」という構成で編集されていて、1時間の学習の流れが分かりやすくなっているということが選ばれた理由です。それから、道徳の教科書では結構物語風のコンパクトな読み物が多く使われますが、そうすると何か読みにくい漢字が多く入っていたりします。この会社の道徳の教科書は、振り仮名が比較的たくさん振られていて、どの学年も非常に理解しやすくしているということも挙げられています。

(委員) 道徳の時間はどのくらい取っているのですか。

(教育長) 週1時間で年35時間です。ただ、道徳は、これはあくまでも素材であって、それを全部やらなければいけないということはありません。年35時間の中にどのような中身を盛り込むかについては、これを一つの資料としながら学校のカリキュラムとして決めていくという仕組みになっています。ちなみに、新潟県については「生きる」という資料集があります。

(委員) 県教育委員会が出しています。

(教育長) 県の教育委員会が作っている資料です。人権教育、同和教育なども含め複数の資料を

有効に活用しながら、適切な内容構成になるよう学校ごとに工夫しています。だから、その中から選んで使うといった素材として考えてもらえればと思います。

それでは、道徳、光文書院の教科書について何かご意見、ご質問がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、光文書院の道徳の教科書の採択について承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。それでは、光文書院が採択されました。

最後になりますが、外国語活動です。前の方にあるONE WORLDという教科書は教育出版のものですが、5年生、6年生が行う外国語活動についての教科書として使っています。単元の題材がスモールステップで組み立てられていて、学びやすい、分かりやすい、そして指導しやすいという理由でこれが選ばれてきています。

(委 員) この表紙はどういう意味でしょうか。

(教育長) 世界は一つということです。

(委 員) 二つないということですね。

(教育長) 湯沢町の子どもたちにとって、これから大きくなっていく過程でたくさんのインバウンドの方と接していく必然性があると思います。子供たちの望ましい姿をイメージしながら、この教科書が適切であるかということを検討してもらおうとありがたいと思います。実際はALT等が入って授業を行うので、これらの教科書の題材等をベースにししながら、ALTが豊富な経験の中からはいろいろ工夫した教材を用意してくれます。そこでまた視野を広めながら学んでいくことが主な活動になると思っています。

では、外国語活動について、教育出版の教科書を使うことに当たりご質問、ご意見等がありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

(教育長) それでは、外国語活動について、教育出版を採択することに承認する方の挙手をお願いします。

(賛成者挙手)

(教育長) ありがとうございます。長時間にわたり審議並びに採択をいただきまして、ありがとうございました。

最初のページに戻りますが、改めて選定委員会で決定したそれぞれの教科の教科書について、湯沢町として今ほど全て採択をいただいたこととなります。ありがとうございました。

以上で議案の第2号について終了します。ありがとうございました。

6 協議事項

なし

7 報告連絡事項

① 区域外就学について【非公開】

② 各課係より報告

特になし

8 その他

① R5.9月委員会会議開催予定日について

第9回湯沢町教育委員会会議は9月26日(火)とする。

② その他

9 閉会

午前10時37分

以上の会議録が相違ないことを確認してここに署名する。

令和5年8月25日

署 名 委 員 種村 公夫

署 名 委 員 高橋 延次